



南郷の風

令和元年度

第17号

2020年・子年スタート！ 本年もよろしくお願ひいたします

第3学期がスタートし、校舎に子ども達の明るく元気な声が響き渡りました。

始業式では、6年生の代表児童が、休み中に取り組んだこと・楽しかったこと、3学期頑張りたいこと（クロスカントリースキーによる体力づくりと1年間の復習）を発表しました。残り少ない小学校生活を、友達と仲良く協力しながら充実したものにしようという決意も伝わってきて、頼もしく感じました。どの子もキラキラと目を輝かせており、子ども達の活躍が楽しみにになりました。

今年も、児童、教職員、家庭・地域がONE TEAM（ワンチーム）で教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



《始業式にこんな話をしました。》

新年明けましておめでとうございます。1年の計は元旦にありと言われるように、1月は1年間の目標を決める大事な時期です。皆さんは、新年を迎えるにあたって、どんなことをお願ひしたり、誓いを立てたりしましたか？

校長先生は、いつも同じで、家族の健康とみんなが仲良く暮らせますように、世界が平和でありますようにと祈っています。また、今年はオリンピックが日本で開かれるので、たくさんの外国の方に来てもらい、日本のよさを知ってもらえますように、選手の活躍で日本が元気になりますようにと願ひました。

さて、今日から3学期が始まります。学校に来る日は50日間です。一番短い学期ですが、とても大事な学期です。3学期は、勉強はもちろん生活習慣などその学年で習ったことをしっかり身につける「まとめの学期」です。また、4月から始まる新しい1学期の前の「準備の学期」でもあります。だから1の前の0学期でもあります。去年も一昨年も話したので、2年生から6年生はもうしっかり覚えていると思ひます。

しっかりまとめをすることは、次の学年の準備をするということでもあります。大変だなと思うことがあっても、決してあきらめずに粘り強く最後までやり遂げてください。

6年生は、中学へ向け、しっかり自分の頭で考え行動するということも意識して過ごしてください。また、登校するとき、班長を中心に大きな声での挨拶や、クラスのチームワークのよさなど、よい伝統や校風が引き継がれるよう、今まで以上にお手本を示してください。

5年生から1年生の皆さんは、そうした6年生のよい姿をしっかり見て、まねをして次の学年の準備をしてください。

「まとめの学期」3学期、「準備の学期」0学期は、バトンの引き継ぎという意味でも、今まで以上に「よい目」「よい耳」「よい心」で過ごしましょう。

節目を大切に

「竹に節がなければズンベラボーで、とりとめがなく風雪に耐えるあの強さも生まれてこないであろう。竹にはやはりフシがあるのである。同様に、流れる年月にもやはりフシがある。ともすれば、とりとめもなく過ぎていきがちな日々である。せめて年に一回はフシを作って、身辺を整理し、長い人生に耐える力を養いたい。そういう意味では、お正月は意義深く、おめでたくて、心もあらたまる。」

これは、パナソニック創業者の松下幸之助の言葉です。竹は節があるからこそしなやかで強く、丈夫にぐんぐんと空に向かって伸びていくことができます。新年という節目を迎え、子ども達もきっと、気持ちを新たに1年のスタートを切ったことと思います。子ども達は、新年の節目を意識することで竹と同じように大きく成長できます。そんな子ども達の意欲を大切にしながら、力を伸ばしていきたいと思います。また、松下氏は、こんな言葉も残しています。

「志を立てることは大事、だが、それ以上に大事なものは、その初心を持ち続けることである。」

人間は忘れっぽい動物です。子どもに限らず、大人でさえ初心を忘れがちになります。ご家庭でも、折に触れ目標や志を確認しながら、がんばりを認め、よくできているところは褒めたり、十分でないところは励ましの言葉をかけたりして、意欲を高めていただければ幸いです。

おめでとう、受賞披露

『伝えたい 思い届ける 十七字』

～ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業～

【第1次選考通過作品 絆部門】

1年 齋藤 雅・父

「むしさがし みつけたみつけた くわがた座」

「どや顔の 息子の笑顔 一番星」

1年 酒井心愛・父

「ぼんおどり みんなたのしく おどったよ」

「子は踊り 父はやぐらで 笛を吹く」

2年 五十嵐結衣・父

「きもだめし 星がきれいな よるの空」

「夏の夜 こっそりかくれ 蚊にさされ」

5年 酒井空紫・父

「朝おきて 父さん仕事で いつもいない」

「朝おきて 娘の布団を 直す僕」

第1次選考の際に「南会津奨励作品」として選ばれた作品です。

【笑い・感動スマイル賞 絆部門】

1年 菅家翔真・母

「つぎいつくる? たのしかったよ またきてね」

「お盆中 朝から晩まで 騒がしい」

1年 小山紗奈・母

「おまつりへ かぞくみんなで いきました」

「去年より 短い浴衣で 手をつなぎ」

2年 渡部慈杏・母

「ハムスター ごはんたべるよ かわいいな」

「そうじして かわいいだけじゃ 飼えないよ」

6年 酒井 優歌・母

「令和でも 平和よ続け いつもまでも」

「戦没者に 思いを馳せて 黙とうす」